

柏の葉ペタンククラブ

柏の葉をペタンクのメッカに！競技を通じて住民交流と健康づくりを促進



国内ではあまり馴染みのないボールスポーツ「ペタンク」が、千葉県柏市柏の葉キャンパス地区で盛り上がりを見せています。市内で初となるペタンク専用コートが駅前に整備されたほか、来年秋に開催される千葉国体では柏市がペタンクの開催地に決定。地元住民が集まるクラブ活動も発足し、ペタンク競技を通じて交流と健康を促す地域づくりが行なわれています。

フランスの国民的スポーツ

ペタンクは、1910年に南フランスで生まれた球技です。4m×15mのコートを使い、定位置から野球ボール大の金属球を目標球（ビュット）に近づくよう投げ得点を競います。もともとは助走をつけて投球するゲームでしたが、足の不自由な人でも参加できるよう、全員が同じ場所から投球するようになり、フランス語で両足を揃えることを意味する「ピエタンケ」が変化して現在の「ペタンク」と呼ばれるようになったとか。

老若男女を問わず少スペースで気軽にプレーできるほか、たった一球で形勢を変えたり、大量に得点を取得できる面白さがあるため、発祥国フランスでは競技人口が500万人を超え、ヨーロッパのポピュラーなスポーツとなっています。

街づくりにペタンクを活用

日本でもペタンク人気は徐々に高まり密かなブームになっていますが、全国での競技人口は5万人程度と、まだまだマ

イナーなスポーツ。柏の葉キャンパス地区では、この目新しいスポーツを、都市開発が進む新しい街の象徴にしようと、今年8月に全国でも数少ないペタンク専用コートが駅前に開設しました。

ペタンク普及活動の中心を担うのは、柏市内で22年前に結成された「柏市ペタンク協会」。約20人の会員のうち15人が指導員の資格を有し、市民にペタンクの楽しさを伝えています。会長の藤本新平さん（69）は、「ルールがシンプルで体力的なハンディはないため、誰でも気軽に楽しめる。一方で、集中力や高度な戦略・技術を必要とするため、奥が深い」とペタンクの魅力を教えてくれました。

当協会には現在、30代から70代までの幅広い世代の男女が集まり、毎週末、ともに汗を流しています。その実力は、フランスで開かれた世界大会に出場するほど。藤本さん自身も、仕事と両立させながら年間20以上の大会に出場するツワモノ。「全国各地で開催される大会に出場することで、他県の人と交流できるのも楽しみ。週末2日間だけの運動で

すが、よく歩く競技なので健康維持にもつながっています」という藤本さんの言葉のように、“健康”や“交流”をテーマに街づくりが進む柏の葉キャンパス地区にとって、ペタンクは非常に相性の良いスポーツなのです。



サークルの中から狙いを定めて投球



色のついた目標球に最も近づけたチームが勝者

柏の葉ペタンククラブ

千葉国体がペタンク普及の追い風に

この地でペタンク普及の追い風となっているのが、2010年秋に開催される千葉国体の存在。この国体でのデモンストレーション行事としてペタンクの実施が決まり、さらに競技開催地として柏市が選ばれたのです。大会を機に一気に盛り上げたいと、地域住民はペタンククラブを発足させました。

8月15日には、クラブ発足を兼ねた体



ペタンク競技姿の「チーバくん」は、2010年ゆめ半島千葉国体のマスコットキャラクター

験会が開かれ、約50人もの地域住民が参加。柏市ペタンク協会の指導を受けながら、投げ方の練習やゲームを行ないました。和やかな雰囲気の中で談笑しながらも、投げる時の表情は真剣そのもの。

夫婦や家族がそろって参加

このペタンククラブ、夫婦や家族での参加も多いのが特徴です。男女間や年齢によるハンディがないことがポイントのようで、家族間でのコミュニケーションを図るツールとしても活用できそう。都心部では消えかけている「地域の子どもと高齢者との交流」が、ここでは普通に見られました。

体験会に参加した野村志津絵さん(60)は「女性でも気軽に楽しめ、夫婦と一緒に取り組めるのがいい」と虜になった様子。今回実際に夫婦で参加した山口恵美さん(32)は「思ったより簡単で、主人もやる気満々」と早くもプレーに手ごたえを掴んだようです。でもこのペタンク、



体験会の後はビールとおつまみでご近所交流

一見簡単そうに見えますが、実は戦略やテクニックを磨くことで一層楽しくなる、奥が深いスポーツなんです。

次回のペタンククラブの体験会は、9月12日に開催。今後も月一回、体験会を実施する予定とのこと。スポーツの秋にペタンクで汗を流した後は、ビール片手にご近所同士で秋の長夜を楽しむ。そんな姿が柏の葉スタイルとして定着しそう。

ペタンククラブの詳細は Web サイト <http://www.kcvn.net/petanque> 入部や体験会の申し込み・問い合わせは 04-7137-2221(まちのクラブハウス)まで。

キーパーソン・トーク

23年前にペタンクと巡り合い、その魅力の取り付かれてしまいました。翌年には友人らと協会を立ち上げ、現在まで毎週末、柏市内の多目的広場でプレーを楽しんでいます。協会では、技術の向上だけでなく普及活動にも力を入れ、新しく入ってきた会員には皆、指導員の資格を取ってもらっています。毎年5月に全国大会、9月に市民大会を開催しているほか、地元のイベントやお祭りの際は、親子で気軽に体験できる企画を実施しています。

ペタンクは、いつでも・どこでも・誰でもプレーを楽しめ、また競技を通じて健康増進や地域交流の活性化にもつながるという特徴があります。これらのペタンクの魅力を街づくりに活用しようという柏

の葉キャンパス地区の取り組みは、非常に興味深いものです。

この地域は、都市開発によって人口増加が続くと聞いています。また周囲には大学のキャンパスがあり、多くの学生が街に訪れています。居住人口の多い駅前に専用コートができ、住民交流が活発なクラブ活動が立ち上がったということで、今後ペタンクファンは確実に増加していくでしょう。

市内でのペタンク競技人口は、現在まだ50人程度と決して多いとは言えません。ただ、柏の葉キャンパス地区での普及活動を重点的に行い、5年後には競技人口を今の10倍にまで増やしたいと考えています。将来的には、この地をペタンクのメッカとして全国に発信していくことで、多くの来街者が集まりペタンクを通じた交流が生まれる、活気ある街になっていくのではないのでしょうか。



藤本 新平
柏市ペタンク協会 会長

□編集後記□

休日のお父さんは、家でゆっくりしたいもの。でも、柏の葉では、家族そろって外に出て皆と交流してほしい。そんな想いから企画された今回のペタンク体験会は、「ビールでも飲みながら夕涼みに来て」という誘い文句が絶大な効果を発揮したとか。かくいう私も、ビールにつられて取材に行ったひとりです。(小林)

●このニュースレターに関するお問い合わせ先

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) 広報担当 小林、蛭川
〒277-8518 千葉県柏市若柴字元堂178-3 柏の葉キャンパス駅前148街区3画地
TEL 04-7140-9686 FAX 04-7140-9688
E-MAIL ma-kobayashi@udck.jp WEB <http://www.udck.jp>

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

UDCK